

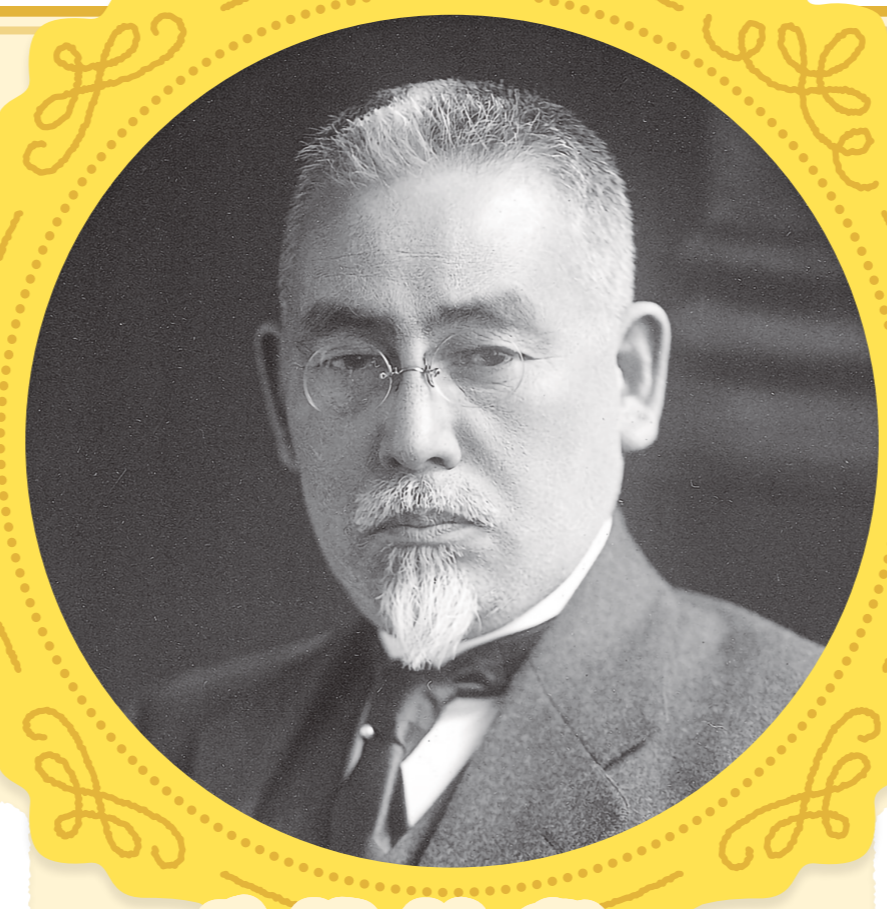
現代に受け継がれた、後藤新平の復興大計画

1923年9月1日午前11時58分、関東大震災発生

今からちょうど100年前、「関東大震災」が関東地方をおそいました。昼食の準備で火を使っている家が多かったため、大火災の影響で死者や行方不明者が10万人を超えました。被害は東京だけでなく関東一帯に広がり、電気、水道、道路、鉄道などの生活に必要な基盤が壊滅的な被害を受けました。政府は地震が起きた9月1日を「防災の日」とし、学校や企業などで災害に備えた訓練が行われています。



被災直後の9月7日に撮影された、倒壊した浅草の「凌雲閣」。12階建てが途中から折れている
(東京市編纂「東京震災録 地図及写真帖」より
提供：公益財団法人 後藤・安田記念東京都市研究所市政専門図書館所蔵資料)



後藤新平の「未来の東京」設計図

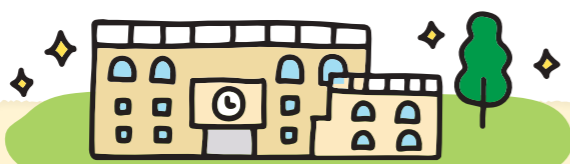
1 道路や橋の整備

幅の広い道路作りや、街を整った形に変える区画整理を実行！現在の「昭和通り」、「靖国通り」、「明治通り」などが、このときに造られました。



3 災害に強い小学校建設

関東大震災が起こるまで校舎は木造でしたが、火災があっても燃えにくい鉄筋コンクリート製の「復興小学校」として建て替えを行いました。



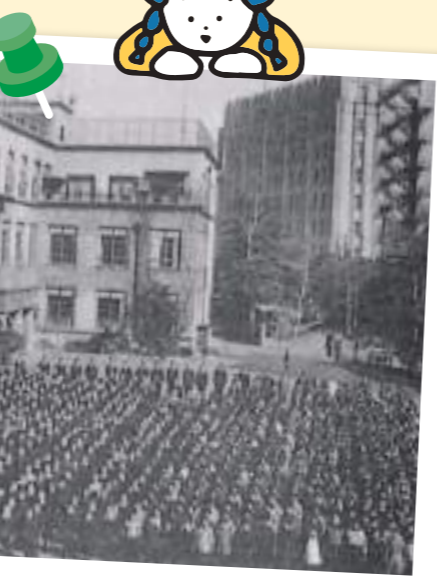
関東大震災後、東京は地震や火事に強い街へと大きく生まれ変わりました。その大プロジェクトの中心となったのが、当時の内務大臣で、「都」になる前の東京市長を務めた経験もあった後藤新平。彼が計画した「東京復興大計画」とはどのようなものだったのでしょうか。



2 大きな公園の整備

もしものときに火災が広がらないようにし、また人々の避難場所となるように、「震災復興大公園」として隅田公園、浜町公園、錦糸公園を整備。あなたも行ったことがある？

現在の泰明小学校



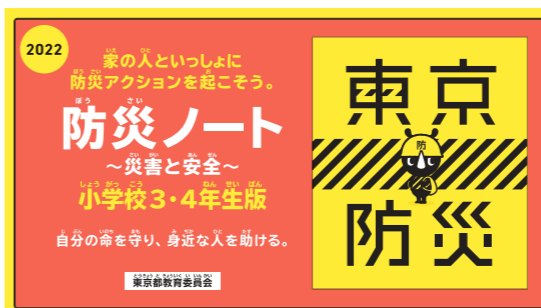
復興後の泰明小学校

TOKYO ニュース

「もしもの時」はいつきてもおかしくない「防災ノート」を活用しよう



もし災害が起きたら、あなたはそのとき、どこにいるでしょうか？「防災アクション」を起こす力を身につけ、自分や他人の命を守るために防災ノートを通して学習しておきましょう。



防災ノートは
こちらから
見ることが
できます

TOKYOクイズに挑戦

消火訓練や煙体験など、楽しみながら防災体験ができる東京都立川市にある施設の名前はなんでしょう？

答えは「広報東京都こども版」ウェブサイトをチェック！

もっと詳しい情報は、

広報東京都こども版

ウェブサイトに掲載しています。

ウェブサイトも見てみよう！

広報東京都こども版

<https://www.kodomokoho.metro.tokyo.lg.jp/>

広報東京都こども版について、「こんなことを知りたい」「もっとこうしてほしい」などのご意見や、「こんなところがおもしろかった」など感想を募集しています。ウェブサイトの「みんなの声募集」から送ってね！



東京都こども
ホームページ

楽しみながら東京の魅力や都政について知ることができるよ！

東京都こどもホームページ

<https://tokyo-kodomo-hp.metro.tokyo.lg.jp/>

